

今在家集落「集落営農ビジョン」

作成日：平成21年 2月18日

修正日：平成 年 月 日

市町村名	倉吉市	組織名	今在家営農組合
------	-----	-----	---------

1 地区の範囲
倉吉市 今在家地区

2 地区の概要

水田面積	14.8ha
主な水田栽培作物	水稲、牧草（イタリアンライグラス）
農家数	21戸
認定農業者数	0 経営体
地域水田農業ビジョンの担い手数	0 経営体

3 組織化の目標（設立時期の目標は、事業実施年度内とする。）

・設立時期（規約等の制定日）【平成21年 2月24日】

	組織形態（該当形態に○）	加入農家数
【現状】前年度実績 （19年度）	<input checked="" type="radio"/> 未組織 <input type="radio"/> 作業受託型 <input type="radio"/> 共同利用型 <input type="radio"/> 協業経営型	0戸
【目標】事業開始翌年度 （21年度）	<input type="radio"/> 共同利用型 <input checked="" type="radio"/> 協業経営型 <input type="radio"/> 作業受託型	21戸

4 集積率（機械の共同利用と作業受託）の目標

項 目	【現状】		【目標】
集 積 面 積 ①	0.0ha		10.9ha
うち経営及び作業受託 ②	0.0ha		10.9ha
対 象 水 田 面 積 A	14.8ha		14.8ha
集 積 率 ①/A	0%	※3	73.6%
うち経営及び作業受託 ②/A	0%	※4	73.6%

注1) ※③の集積率の目標は採択要件。50%超が必要。

2) ※④の作業受託による集積率の目標が、50%超の場合は事業費上限10,000千円、50%以下の場合は事業費上限5,000千円。

3) 集積面積の詳細は、別表「集積目標（実績）一覧」により作成。

I 集落営農に対する基本方針(自由に記載)

<p>【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】</p>
<p>1 担い手の明確化及び水田利用集積目標 本集落内には認定農業の該当者はなく、今後も現れないと予想される。そこで担い手として集落営農組織を立ち上げ農作業を受託し、農業機械の共同利用により生産コストの低減を図る。 上記の活動を実施することによって、集落全体の営農意欲の高揚を図り、水田利用集積率を70%以上としたい。</p>
<p>2 水田作付計画、生産調整の方針・具体策 転作作物の牧草の団地化が一部において行われているが、今後は、牧草の団地化を図りつつ、麦等の栽培も考えて行きたい。 水稻の作付けは、集団化することによって栽培管理の高度化、作業能率の向上等により、生産コストを低減し、所得の向上を図りたい。</p>
<p>3 農業用機械施設の効率利用 水田農家全戸がトラクターを所有しており、機械化貧乏の様子が伺われる。 現在所有しているトラクターは個人で更新しないようにし、機械の共同利用によって機械の大型化を図り、機械作業を省力化し作業能率の向上を図る。</p>

II 農業用機械施設の整備方針

1 本事業で導入する機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額(円)	導入予定年月